

第22回全国棚田(千枚田)サミット

棚田には夢がある!～棚田の価値を知り・活かし・継承するために～

開催地 新潟県佐渡市 開催期日 平成28年7月14日～15日

全国の棚田を取り巻く環境は、農家の高齢化・担い手不足などにより、一層厳しさを増している。佐渡島では日本で最初の農業遺産の認定がされ、棚田の価値が見直されつつあるが、全国と同様な課題を抱えてもいる。このような中で全国各地から棚田に関わる人々が集い、意見を交わすことによって、棚田の価値が再認識され、活かされ、次世代が参画し、継承されていく、そんな棚田の夢の実現に向けてサミットが開催された。

四谷の

千枚田だより



第156号



小倉千枚田



サミットには保存会から今泉雅男、村雲伸一、松下 誠、高橋孝行、小山舜二が参加した。十四日、早朝二時に出発、直江津港に七時に着いてしまった。佐渡へのフェリーは九時半、予想よりはるかに早く着いた。

サミットセレモニーは佐渡高校の生徒による一寸狂わず見事な「民舞」に満場、拍手喝采であった。基調講演は日総研の主席研究員による時代、年代の年齢推移など、棒グラフが飛び交う速さで説明、まるで数字のマジックショーで(舜)のような貪百姓には理解し難く、時々恫喝的な放言に居たたまれず、つつい席を立ってしまった。保存会のメンバーは第一分科



会…「棚田には米がある」棚田の資源を探し、活かす方法」のパネルディスカッションに参加。(舜)は中島峰広先生を座長に全国の棚田保全活動団体による意見交換会「棚田のまもりびとミーティング」に指名され参加した。守る立場の苦勞、喜び(あまりないか)を発言、それを引き金にそれぞれの「まもりびと」の忌憚のない意見交換、議論の場となり有意義なひとときであった。



念仏踊り

八月十三日、四谷の千枚田を真正面に見る身平橋の海源寺で午後七時から西組共進連の若い衆と中老衆による念仏踊りが、十四日には午後六時半から方瀬の長谷川喜一さん宅で庭受け、長谷川泰史さん宅は集会場で方真連による念仏踊りが厳かに行われた。



風祭り

この地方では盆月になると風祭りが行われている。調べて驚いたことに連谷集落の全ての「組」で行

われている。由来は、作物に暴風の被害がないように祈願する祭り。台風の際襲撃時期とされる二百十日前後に行なわれている。昔から、台風はよつぼど「おそがかった」ようだ。

風祭り(集落別)

組名	月日	場所	備考
大代組	8月16日	かしゃげ峠	百万偏念仏
大林組	8月28日	集会場	百万偏念仏
古宿組	8月28日	庚申塚	百万偏念仏
身平橋組	8月16日	海源寺	〃 春彼岸
与良木組	8月28日	集会場	百万偏念仏
方瀬組	8月16日	集会場	百万偏念仏
真菰組	8月16日	薬師様	百万偏念仏
松下組	8月7日	医徳寺	百万偏念仏

農山漁村(むら)の宝

趣旨 「ディスプレイ農山漁村の宝」とは「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化

化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るものとし、このため、他の地域の参考になるような優



礼状

(百五十五号既報)

四谷の千枚田保存会長さんと新城市役所のみなさんへ
この間は、四谷の千枚田を見学させていただきました。ありがとうございます。ピオトープで自然をかんさつしたり、獣よけの対策を教えていただいたり、すごくきれいな景色を見せてもらったり、米づくりの大へんさを知りました。たくさんのしつもんにごたえてくださって、すごく勉強になりました。四谷の千枚田を、また見学できればなあと思います。その時はよろしくおねがいします。これからも、お体に気をつけて、むりのないよう、おしごとをつづけてください。

かやま子どもの村小学校
よくばり菜園 小原みりん
他、五名からも礼状をいただきました。

れた地域活性化の取組を評価するための募集であり、「四谷の千枚田」は小学校閉校後、住民総意で地域の中核としての位置付け、取り組み(景観保全等々)など、地域の宝、市・県の顔として揺ぎ無い地位を築いた。応募したものの、もしも、本当にもしもの話だが、もしも上位入選したら首相官邸で安倍首相から表彰状を頂くことになる。もしも、首相から表彰状を頂いても「わるいのん」とか「ごつつおうさま」など三河弁を使わないよう、今から心がけようと思う。

行 平成二十八年八月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二